

本校は、開校以来40年の歴史と地域社会の願いを踏まえ、自ら考え学びつづけ、新たな時代を築く子供の育成を使命とする。また、コミュニティ・スクールである役割として、学校運営協議会とともに教育課程を編成し、地域に生きる子供たちを健全に育成することにもある。よって、学校教育目標達成の手立てを共有し、地域住民や保護者と同じ歩調で教育活動を推進する。

そのために、ネットワーク型の学校経営を通して、子供の活躍できる場面を地域社会全体に広げ、身に付けた基礎的な知識や技能を活用できる喜びを味わわせ、学習への意欲と自己肯定感を高めていく必要がある。さらに、持続可能な教育活動を通して、多様な価値観から自らの考えを深め、だれもが成長することに喜びを感じるウェルビーイングな学校を目指す。

1 上砂川小学校の教育目標

日本国憲法、教育基本法、東京都教育委員会及び立川市教育委員会の教育目標をもとに、上砂川小学校の児童の実態を踏まえて、目標を設定する。子供たちが、変化の激しいこれからの社会の中で力強く未来を切り拓いていくために、学習指導要領が目指す「生きる力（知・徳・体のバランスのとれた力）」を育むことを目指し、人権尊重と社会貢献の精神を基調とする。

☆ 自ら考える子（知） ○ 心美しい子（徳） ○ たくましい子（体）

☆は重点目標

2 学校経営をすすめる5つの基本理念

～児童・教職員・保護者・地域にとって居心地のよい学校づくり～

- ① 子供の安全と利益を判断の最優先とする。
- ② 教育公務員として法を遵守し、ライフ・ワークバランスの視点を持ち、サービス事故防止する。
- ③ 教職員がチームとして協働するとともに、一人一人が責任をもつ。
- ④ 教職員が前例にとらわれず、目的達成のための工夫を行う。
- ⑤ 保護者・地域とのつながりを大切にし、信頼力を高める。

学校教育目標	自ら考える子	心美しい子	たくましい子
学校の姿	基礎的・基本的な学習内容が身に付き、活用している。	楽しく通い、誇りに思っている。	一人一人が役割を果たしている。
児童の姿	自ら学び、よく考え、伝え合い、主体的に判断して表現している。	互いに協調し、人を思いやる心や豊かな感性を磨いている。	心身ともに健康で、目標をもって粘り強く行動している。
教師の姿	常に指導力向上に努め、研修等を通して力量を磨いている。	他者を深く理解し、他者のよさを認めている。	教育公務員の自覚と仲間との協働で、主体的な課題解決に当たっている。
基本計画	1 学習環境の整備 2 個別最適な学習活動 3 学習意欲の向上	1 安心と楽しみのある学校生活 2 豊かな感性を磨く活動の推進 3 自己、他者理解を深める学習活動	1 体力向上の推進 2 けがや病気の予防指導 3 集団行動の指導充実
手立て	○学習に集中できる教室環境を統一 ○学習目標の焦点化と学習過程の明示 ○習得内容を定着する場面の設定 ○コグトレの拡充 ○タブレット PC のスキルアップ指導 ○電子黒板の効果的活用 ○学習を個別に進められる場の設定 ○立川市民科と体験活動で活用場面の充実	○学校ルールの指導徹底 ○道徳授業の充実 ○遊びを通じた児童理解の充実 ○主体的な児童活動 ○毎月の音楽朝会 ○ムサビプロジェクト ○プロによる文化芸術体験 ○QU の効果的活用と理解教育の充実	○基本運動の場の設置 ○主体的なレクリエーション活動 ○体育的行事としての旬間を設定 ○日常の保健指導で予防指導の充実 ○集団行動の基礎、基本指導の徹底 ○幼保連携活動 ○小中連携活動 ○大人が手本となった指導
学校危機管理（事故・事件・災害等）			
<有事の際の役割> ・校長の役割…判断と責任 ・副校長の役割…情報の精査、渉外 ・主幹教諭の役割…情報収集の指導、監督 ・主任教諭…教諭とともに情報収集 <平時の備え及び取組> ○「いじめみのがさぁずディ」、不登校対策の定期的取組、施設等安全点検、有事を想定した実践訓練、防災・安全教育、連絡体制の確立、サービス事故防止研修			
業務改善			
○ICT 活用による会議の効率化と精選 ○学校教育目標に沿ったねらいの設定とねらいに沿った内容で、就業時間内ですべてが取り組める計画立案 ○毎週水曜日を定時退庁日に設定し、地域、保護者に周知			